

# 福井工業大学 後援会会報

## Fukui University of Technology 2018

平成30年4月20日発行

# 56

福井工業大学  
後援会

〒910-8505 福井市学園3丁目6番1号

電話(0776)29-7864

FAX(0776)29-7891

E-mail syomu-u@fukui-ut.ac.jp

今春オープン

若狭町みさき漁村  
体験施設

(愛称:「みさきち」)

(指定管理者: 金井学園)

### 特集 学位記授与式・入学式 [2・4P]

- ・新学長メッセージ [3P]
- ・入学式で聞きました  
福井工業大学で描く未来 [5P]
- ・研究室を訪ねて [6~8P]
- ・寄稿 [9P]
- ・羽ばたく学生たち [10~11P]
- ・キャリアセンター就職支援課 [12~13P]
- ・大学院進学について [14~15P]
- ・学内奨学金について [16P]
- ・年間スケジュール [17P]
- ・社会貢献 [18P]
- ・クラブ成績 [19P]
- ・平成30年度 学部学科別教員一覧 [20P]
- ・ご相談窓口のご案内 [21P]
- ・後援会定期総会・地区懇談会・保護者対象就職セミナー  
開催のお知らせ [22~23P]

## 定期総会・福井地区懇談会

参加申込はホームページ(ウェブ)に変わります。



平成二十九年度

# 学位記授与式

三月十五日(木) 午前十時より、金井講堂にて平成二十九年度学位記授与式が挙行されました。

穏やかな春の日差しのもと、大学院工学研究科博士後期課程修了生三名、工学研究科博士前期課程修了生十七名、工学部卒業生五百二十二名、計五百四十二名(うち留学生二十五名)が本学の学び舎を巣立っていきました。

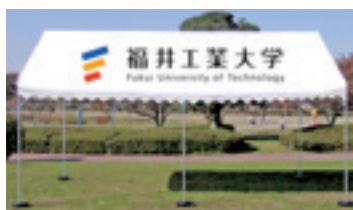
森島学長は式辞の中で「A・I・O・T (Internet of Things) の進歩の中で、イノベーションをつくり出す先導者として社会で活躍してほしい」との言葉を修了生・卒業生へ送りました。



## 平成29年度 卒業記念品



ジェットタオル  
10台



大学名・学園ロゴ入りテント  
2張り



学部卒業生を代表し、建築生活環境学科の松窪つむみさんが答辞を述べました。





# 学長メッセージ

## 持続可能な社会を支える

## 技術者の養成を目指して



学長  
掛下 知行

福井工業大学は、1965年の開学以来、常に、その時代時代の要請に合った「工業大学」の在り方を追求し、常に改革を重ねてまいりましたが、2015年には、開学50周年を機に、3学部8学科からなる工科系総合大学として新たな第一歩を踏み出しました。

従来からの、機械、電気、建築、土木、原子力技術といった工学の基盤及び先端領域からなる「工学部」に加え、文系指向の生徒や女子生徒にとっても、将来の進路として魅力的な文理融合領域を含む「環境情報学部」と「スポーツ健康科学部」を新たに誕生させました。

福井工業大学は、未来の社会を先導する文理融合型の総合大学として、社会が求める人材像に適った人材を育成するとともに、持続可能な地域づくり、明るい未来の地域づくりに

貢献できる大学を目指しています。

「環境情報学部」は、環境、食品、バイオ、化学、経営、情報、政策、デザインといった分野で活躍できる人材を育成するとともに、研究面においては、例えば、環境の浄化、保全や安全な食品の製造、加工に関わる革新的な技術等、地域の持続的発展に資する技術を地域社会に提供し、地域の取組みをサポート・指導する役割を担ってまいります。

目の前に迫っている超高齢化社会において、人々の健康の維持・増進は、シニア世代が幸福な生活を送るための必須条件です。「スポーツ健康科学部」の活動を通して、健康体育、生涯体育を地域に根付かせることにより、高齢者を取り込んだコミュニティの輪が広がり、ひいては、高齢者の生き甲斐につながる、といった好循環を生み出す社会の仕組みづくりやシステム開発に関する研究成果を社会に提供するとともに、スポーツ、健康科学の分野で指導的な役割を担う人材を育成し、地域社会のより良き未来を先導してまいります。

福井工業大学は、「教育第1主義」

を標榜する大学ですが、専門知識や技術の修得だけでなく、豊かな人間性と幅広い教養、そして、コミュニケーション力、リーダーシップ、チームワーク力等、社会人に求められる基本的な力を養うことを目標に、様々な特色ある教育プログラムを実施しています。また、グローバル化が加速度的に進みつつある21世紀社会に調和する倫理観、国際的視野、異文化理解力、英語によるコミュニケーション能力を身につけた、世界で活躍できる人材を育成することにも力を入れています。

福井工業大学は、「地域と一体感のある大学」、「時代を先取りした大学」として、これからも、時代と共に進化を続けてまいります。



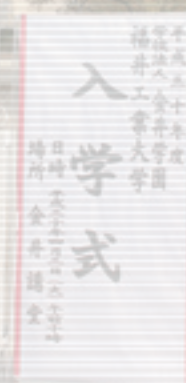




平成三十年度  
入学式

四月三日(火)、福井工業大学金井講堂にて平成三十年度入学式が行われ、学生、来賓、教職員、保護者等約一四〇〇名が出席しました。

式では掛下学長が、「山に登るときは人それぞれにあった道や登り方で登ればよいが、途中であきらめずには決して頂上にはたどり着けない。初めての山、すなわち本学での勉学を成し遂げ山の頂上に上りつめてほしい」と式辞を述べられ、新入生を代表して、工学部原子力技術応用工学科の荒牧みずきさんが「建学の精神に則り、勉学に励み、学問の真理探究にまい進する」と宣誓書を読み上げ、各学科の代表が宣誓書に署名しました。







入学式で聞きました

## 祝 ご入学

# 「福井工業大学で描く未来」

コメント集

福井工業大学に入学された皆さんおめでとうございます。  
ここでは入学式に出席の新入生と父母・保護者の皆さまに、  
これからの目標について語っていただきました。



子 「PCのプログラミングを頑張りたい。」  
親 「4年間しっかり学んで、成長してほしいと思います。」



子 「将来、活躍できるように勉強がんばります。」



親 「陸上頑張ってね。」



子 「充実した生活を目指したいです。」  
親 「楽しい大学生活を送ってほしい。やりたい方をみつけて、どんどんチャレンジしてほしいです。」



子 「良かったと言える大学生活にする。」  
親 「本気で頑張ってください。そして楽しんで下さい。」



子 「自動車学ぶぞー」  
親 「機械を使う仕事についてもらうので、しっかり専門分野を学んで欲しいと思います。」





## 「研究室を訪ねて」

工学部 電気電子工学科 教授  
芥子 育雄



# ニューラルネットワークと人の知見の融合に 基づくソーシャルメディア分析

IoTやソーシャルメディアの進展により、実世界の情報がリアルタイムにクラウドに蓄積されるようになりました。例えば、視聴中のTV番組や閲覧中のWebサイトの情報はリアルタイムに収集されます。Twitterには、商品やスポットなどの評判情報、世論や世代のトレンドに加えて、リアルタイムに発生するイベント（地震や天気、交通トラブルや混雑状況など）に対して、リアルタイムに投稿されます。しかし、各領域のデータは、多様でリアルタイム性がありますが小規模です。従って、各領域データのみによる価値発見は限定的になりますが、他の領域データと掛け合わせた分析により、価値創出の可能性が高まります。

Google（現Facebook）のMikolovらが2013年に発表したword2vecは、テキストの文脈情報をニューラルネットワークにより学習させると、語義の似た単語が似たような重みを持つ意味ベクトルを構築できると報告されています。また、東京ー日本+フランスに最も近いベクトルを持つ単語は、パリ、のよう

ニューラルネットワークを利用した分散表現学習は研究が進展していますが、自動抽出される特徴量の解釈性の課題があります。これは、獲得された分散表現の各次元の概念が明らかでないため、分散表現がブラックボックスとなっていることです。また、学習対象により各次元の概念が変わるため、各領域で学習した分散表現を掛け合わせた分析も困難です。さらに分散表現を利用したタスクの精度を高めるためには、大量テキストの学習が必須であり、大部分のWebデータやIoT家電などにより収集されるスモールデータに適用することも困難です。

私たちの研究目的は、特徴量の解釈性が高い分散表現学習を確立することです。これにより、スモールデータや他領域で獲得された分散表現を掛け合わせた可視化や分析を実現し、新たな価値（知見、利便性、収益など）の創出を目指します。

研究ターゲットを図1に示します。単語ベクトルの学習、テキストの特徴抽出、自然言語処理タスクから構成されます。私たちが構築した単語意味ベクトル辞書は、基本単語と特徴単語との論理的関連性および連想的関連性を表現した辞書です。基本単語は、10歳児が覚えることができる約2万語の単語であり、新語の意味を類推するための重要語です。

特徴単語は、有限個で意味を代表する264種類の概念です。ニューラルネットワークの隠れノードに264種類の特徴単語を割り当て、単語意味ベクトル辞書を元に入出力ノード（単語）と隠れノード（特徴単語）間の初期重みを与えることにより、特徴量の解釈性が高い分散表現学習を提案しました。単語の意味が辞書で表され、分散表現学習により単語の文脈を学習します。人は辞書から単語の概念を理解し、それを少数の例文から使用方法を学ぶことができます。人が言葉を学習する仕組みを模倣することにより、人の知見（辞書）を分散表現学習に反映する単語ベクトルの学習方法を実現しました。

テキストからの特徴抽出は、単語ベクトルに基づいて、テキストの特徴量を学習することが出来ます。本特徴量がカテゴリ分析や極性（ポジネガ）分析などの自然言語処理タスクに利用されます。図2にカテゴリに対応する特徴単語を概念軸としてツイートを可視化し、カテゴリ分析を行なっている例を示します。

今後は、Twitterに見る福井県の学生・観光・産業など、福井県の経済発展に役立つ分析を計画していますので、ご支援、ご指導よろしくお願い致します。

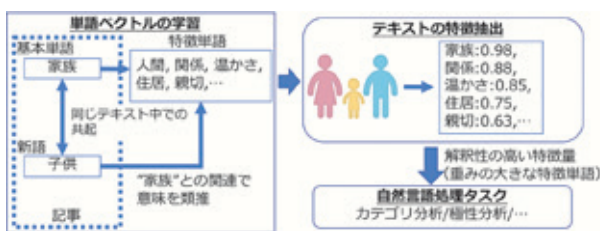


図1 研究のターゲット

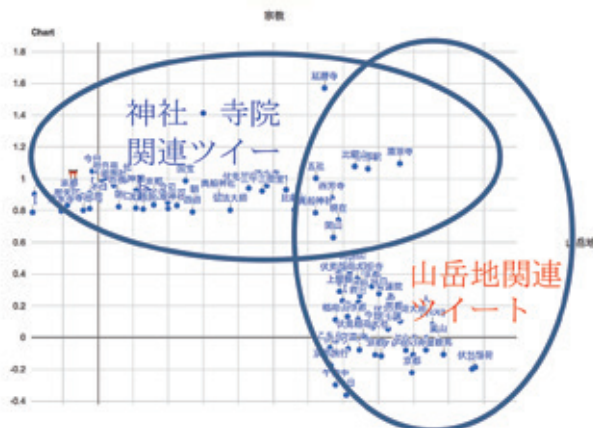


図2 観光関連ツイートの可視化例



## 【研究室を訪ねて】

# コンピュータ・インターネットと

## IoT (Internet of Things)

環境情報学部 経営情報学科 教授  
北上 眞二

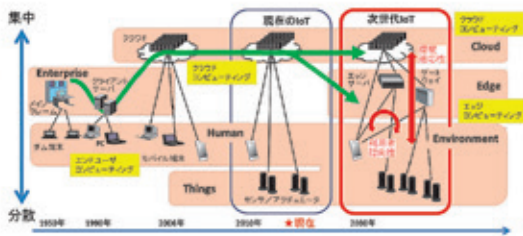


図1 コンピューティングモデルの変遷

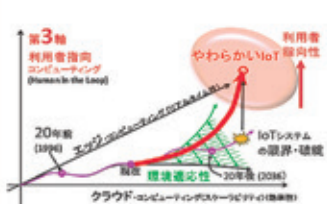


図2 やわらかいIoT

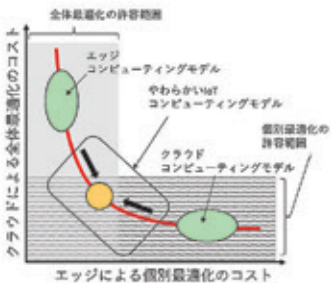


図3 全体最適化と部分最適化

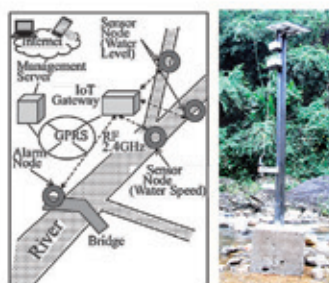


図4 洪水防災／減災システム

### コンピュータ・インターネットの変遷

1964年に米IBM社が汎用コンピュータSystem/360（メインフレーム）を発売して以来、企業におけるコンピュータの利用形態は「集中型」と「分散型」を繰り返してきます（図1の「現在」より左側）。このコンピュータの利用形態のことを「コンピュータモデル（以下、CMと呼びます）。メモリやCPU能力などコンピュータ資源が集中するメイ

ンフレームのCMは「集中型」でした。

1980年代に入つてオフィスへの導入が進んだパソコンやサーバにアプリケーションやデータを分散させる「クライアントサーバシステム」の導入が進み、CMは「分散型」に移行しました。そして、21世紀に入ると、急速に発達したインターネット技術によるCMの「再集中化」が始まりました。さらに、現在では、企業はサーバを持たずAmazonやGoogleなどのデータセンタのコンピュータ資源を利用する「クラウドコンピュータ」によるCMの「超集中化」が始まっています。

### IoT (Internet of Things) の登場とエッジ・コンピューティング

一方で、2010年頃から、IoT (Internet of Things) という言葉が注目を集めるようになりました。IoTは、データを収集するセンサーや工場や建物内に設置された機器をインターネットに直接接続し、人を介さずに様々なサービスを提供するシステムであり、社会・産業および家庭内の様々な問題の解決が期待されています。しかし、IoTは「クラウド集中型」のCMであり、大量のデータ収集によるネットワーク負荷の増大、フィードバック制御の遅延、クラウドに集められたデータのプライバシー漏洩などの問題が指摘されています。これらの問題を解決するために、データの発生源や制御対象に近い場所で処理を行う「エッジコンピューティング」が提案されています。つまり、エッジコンピューティングは、CMの「再分散化」を意味します。このように、今後もCMは「集中」と「分散」を繰り返すのでしょうか？

### やわらかいIoTコンピュータモデル

CMの集中型と分散型は、ともにメリットとデメリットがあります。技術の進歩や流行によって、CMを変えるのではなく、アプリケーションの要求条件やシステム環境に合わせて柔軟に集中型と分散型を組み合わせて構成するCMが必要になると考えています。私たちは、このようなCMを「やわらかいIoT（図2）と呼び、様々な研究に取り組んでいます図1の「現在」より右側）。

### 【環境指向性と利用者指向性】

環境適応性は、仕事の質や量とその変動に応じて、エッジとクラウドへの処理を自律的に割り当てます。一方、利用者指向性は、IoTによって収集された利用者の振る舞いや表情・仕草などの詳細情報に基づいた自律的制御により、利用者ごとの適切なサービスに反映させます。

### 【全体最適化と部分最適化】

クラウドによる集中型CMは、システムの全体最適化に適しています。一方、エッジによる分散型CMは、エッジ内の部分最適化に適しています。このトレードオフの関係にある全体最適化と部分最適化をバレート最適化手法に基づいて両立させます（図3）。

### 適用事例

#### 洪水防災／減災システム

河川流域全体の洪水予測（全体最適化）と局所的な洪水警報（部分最適化）を行う洪水防災／減災システム（図4）を開発し、ベトナムのクアンナム省で実施したフィールド実験により、その有効性を実証しました。

#### エネルギー管理システム

電力需給バランス化（全体最適化）とオフィスや家庭における省エネ性／快適性（部分最適化）を両立させる自律分散型のエネルギー管理方式の研究に取り組んでいます。

#### 次世代モビリティサービス

交通渋滞緩和と交通事故削減（全体最適化）と自動運転による快適性／目的地早期到達性（部分最適化）を両立させる次世代モビリティサービスの研究に取り組んでいます。

#### 【参考文献】

白鳥則郎、北上眞二、菅沼拓夫、菅原研次、嶋本薫、IoTアーキテクチャの最新動向、電子情報通信学会誌、vol.100, no.3, pp.214-221, Mar. 2017.



## 「研究室を訪ねて」

# 人と理解を共有するAIの実現を目指して

環境情報学部 経営情報学科 教授  
谷垣 宏一



本研究室は、自然言語処理・知識情報処理をテーマとする研究室で、昨年10月にスタートしました。本稿執筆時点で、研究室スタートから間もなく4ヶ月が経とうとしており、本書が出版される4月には、最初の研究室配属学生を迎えて、研究室としての活動を本格的に開始することとなります。福井工業大学と福井の発展に資する研究成果創出に向け、微力を尽くして取り組んでまいります。

さて、先ほど自然言語処理をテーマに、と書きましたが、あまり聞きなれない用語かもしれません。自然言語とは、我々が日常、意思疎通のため自然発生的に用いている言語のことです。プログラミング言語などの人工的言語と対比して自然言語と呼んでいます。自然言語処理は、自然言語をコンピュータに扱わせるための広範な技術を扱う分野であり、人工知能（AI）の分野を構成しています。

自然言語処理は、他の人工知能分野と同様、近年機械学習の道具立てに大きなブレイクスルーを得て、急速に進歩した分野です。ウェブに膨大に蓄積されてきた知識・情報と合わせて、かつての人工知能研究では解決されな

かった「シンボル・グラウンディング問題（記号接地問題）」の解決に期待が高まっています。シンボル・グラウンディング問題とは、コンピュータに容易に持たせることが可能な、記号（シンボル）としての概念（の名前）と、実世界でそれが指し示すあらゆる対象や現象との対応を、どのようにしてコンピュータに理解させるかというAIの基本問題です。本研究室では、語のシンボル・グラウンディングを実現する基礎的なしくみ（数理モデル）の確立に取り組んでいます。このような基礎技術の確立により、情報検索や情報抽出、機械翻訳などの応用の高度化、さらには、言語理解に基づいた社会予測知識の自動獲得などが期待されます。

語のシンボル・グラウンディングに対しては、従来様々なアプローチが試みられてきました。その多くは、機械学習で一般的に用いられる「クラス分類問題」（与えられた入力からクラスC1, C2, ..., CNのいずれかを識別する問題）に本タスクを帰着させて解こうとするものでした。そうしたクラス分類のアプローチは、クラス数が比較的少数に限定される他のタスク（例えば語の品詞を推定するタスク）においては、大いに成功を納めてきましたが、膨大

な語彙概念の分類を扱う本タスクでは、すべてのクラスに関し人手で正解を与えることができないためスケールせず、実用化を見込むことが難しいという問題がありました。

これに対し我々は、語のシンボル・グラウンディングの問題を、1) 語の出現文脈の類似性を規定する、文脈の特徴空間と、2) 語彙概念の類似性を期待する、意味の特徴空間との間の対応の分布を求める問題として扱います。2つの空間の間（直積空間）で最も密な対応を求めることにより、与えられたデータセットにおいて貫性のある理解を得るモデルを開発しました（図1、図2）。このモデルは、語彙概念、文脈、双方の類似性のみに基づいて計算可能であり、人手で整備する正

解データが必要としないという特徴を持ちます。このため、従来のクラス分類によるアプローチでは困難であった、膨大な語彙概念の理解を学習することが可能となっています。

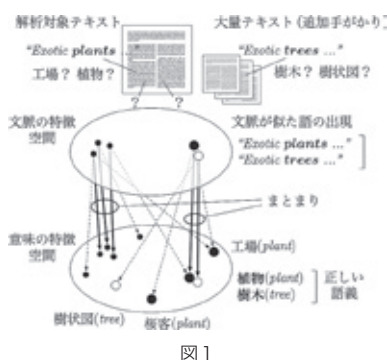


図1

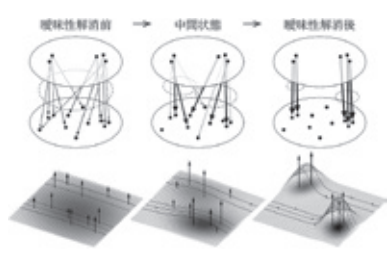


図2

本モデルを試作し、学会が提供するベンチマークデータセットに適用した結果、同等の条件（教師なし学習）で従来報告されているいずれの方式よりも高い精度で、語彙概念を理解できるとの結果が得られています。また本方式では、解析対象テキストと同じ分野の生テキストが大量にあれば、これを同時計算に含めるだけで追加の手がかかりとして利用可能であり、追加した生テキスト量の対数に対し線形に精度が改善される特性を初めて実現しました。今後、モデルと学習方式の改良を進め、人間と比べて遜色ない性能の実現を目指します。また単語だけでなく、複数の語の組み合わせによって複雑な意味が構成されるしくみの数理モデル化にも取り組んでいきます。



# 出会いに感謝

後援会副会長 橋本 尚一

あつという間の充実した4年間でした。後援会活動を通して、いろいろな保護者の方との出会いがありました。遠い県外から不安を抱きつつ福井の地に来られた方、

クラブ活動で怪我を負いながらも夢を追いかけられている方、就職活動に苦悩の日々を送っておられる方など、各々のご子息、ご息女の様子を伺いました。そんな学生達の有意義な学園生活と大学を後援会として少しでもサポートできたらとの思いで活動してまいりました。遂には学園祭の模擬店も出店することもできました。この4年間、理事長様、学長先生をはじめとする諸先生方、大学職員の方には、いつも温かい声をかけてくださり、家族のような雰囲気の中で後援会活動が続けることができました。私自身が、多くのことを学ばせていただきました。感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。





# 男子サッカー部

# 羽ばたく学生たち



## 理 念

- 1 文武両道 ～学業とサッカーの両立～
- 2 人格形成 ～社会に出て活躍する～

## 2018シーズンスローガン

**BREAKING PAST**  
(過去から脱却する)

## 2018シーズン目標

TOP: 北信越大学サッカーリーグ1部 上位4位以内  
SECOND: 福井県社会人サッカーリーグ 1部昇格

## 練習時間

火～金: 17:00～20:00  
土、日: 練習 or 試合

## 2017シーズン結果

TOP: 北信越大学サッカーリーグ2部優勝 1部昇格  
SECOND: 福井県社会人サッカーリーグ3部優勝 2部昇格

## 練習場所

あわらキャンパス  
人工芝グラウンド

去年、1部昇格を決めました。ここからが本当の勝負です。自分たちがやってきたことをピッチで表現し、チームに関わる全ての人へ感謝を忘れずにチャレンジャーとして頑張ります。

副キャプテン **高林 潤**

スポーツ健康科学科3年(聖隷クリストファー高等学校出身)

トップの目標、セカンドの目標が達成できるように、個人として活気づける発言、行動を意識し、チームを引っ張って行きます。

副キャプテン **松井 宏樹**

建築土木工学科4年(聖隷クリストファー高等学校出身)

キャプテンとしてチームを引っ張っていき、大学最後のサッカーを悔いの残らないように頑張ります。

キャプテン **古田 真悟**

スポーツ健康科学科4年(聖隷クリストファー高等学校出身)



# 女子サッカー部

私たち福井工業大学女子サッカー部は大学選手権（インカレ）北信越（福井、石川、長野、新潟、富山）リーグ、皇后杯等に参加しています。大会成績は毎年向上していて、昨年は北信越リーグでは六位、インカレ予選では三位という結果でした。これは、独りではなく「チームワーク」で達成できた結果で得たものです。今後も、全国大会出場を目標に活動していきます。



## 「サッカーの魅力

世界サッカー連盟に登録されている数によるとサッカーの競技人口は二億五千万人にも登り世界中で愛されているスポーツの一つです。サッカーに感じる魅力とは「一点の重み」たくさん点が入る競技と違い、うっかりすると見逃してしまいそうになる貴重で一瞬な得点シーンだからこそ、選手も観客も全神経を集中すること。「チームワークによる成果」ひとりでは成し遂げられないことを、年齢や人種、国籍を超えて力を合わせて成し遂げる。こういったところにサッカーの魅力があるのだと思います。

## 「サッカー部の活動

火・土日は、あわらキャンパス人工芝サッカー場、水から金曜日はカール・マイヤーグラウンドで練習しています。

また、日々の部活動に加え、月曜日に女子サッカー部の普及活動として夏季はカール・マイヤーグラウンド、冬季は福井市内の体育館にて小学生を対象としたサッカースクールを開講し、サッカーを通じて身体を動かすことの重要性やサッカーの基礎的な技術、楽しさなどを伝えています。





# Job hunting schedule

						4 年 生											
10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
						個別指導（エントリーシート添削・履歴書添削・模擬面接など）											
<ul style="list-style-type: none"> <li>●証明写真撮影会</li> <li>●学内企業合同説明会</li> <li>●業界・職種研究会（11月～12月）</li> <li>●業界・職種研究会</li> <li>●都市圏就職活動セミナー</li> <li>●就職ガイダンス6（メイクアップ・身だしなみ講座）</li> <li>●就職ガイダンス7（先輩内定者に就職活動の話を聞こう）</li> <li>●就職試験対策講座1（自己分析講座）</li> <li>●就職試験対策講座2（業界職種研究）</li> <li>●就職試験対策講座3（企業トップセミナー）</li> <li>●就職試験対策講座4（コミュニケーションセミナー）</li> <li>●就職試験対策講座5（ヴォイストレーニング）</li> <li>●就職ガイダンス8（履歴書の書き方）</li> <li>●就職ガイダンス9（合同説明会のマナー講座）</li> <li>●キャリアリーダーズキャンプフォローセミナー</li> </ul>						個別企業説明会（随時）											
<ul style="list-style-type: none"> <li>●就職試験対策講座2（業界職種研究）</li> <li>●就職試験対策講座3（企業トップセミナー）</li> <li>●就職試験対策講座4（コミュニケーションセミナー）</li> <li>●就職ガイダンス7（先輩内定者に就職活動の話を聞こう）</li> <li>●就職試験対策講座5（ヴォイストレーニング）</li> <li>●就職ガイダンス8（履歴書の書き方）</li> <li>●就職ガイダンス9（合同説明会のマナー講座）</li> <li>●キャリアリーダーズキャンプフォローセミナー</li> </ul>						特別講座開講説明会 （基本情報・宅建・公務員）											
<ul style="list-style-type: none"> <li>●就職試験対策講座2（業界職種研究）</li> <li>●就職試験対策講座3（企業トップセミナー）</li> <li>●就職試験対策講座4（コミュニケーションセミナー）</li> <li>●就職ガイダンス7（先輩内定者に就職活動の話を聞こう）</li> <li>●就職試験対策講座5（ヴォイストレーニング）</li> <li>●就職ガイダンス8（履歴書の書き方）</li> <li>●就職ガイダンス9（合同説明会のマナー講座）</li> <li>●キャリアリーダーズキャンプフォローセミナー</li> </ul>						※6月～採用選考本番											
<ul style="list-style-type: none"> <li>●就職試験対策講座2（業界職種研究）</li> <li>●就職試験対策講座3（企業トップセミナー）</li> <li>●就職試験対策講座4（コミュニケーションセミナー）</li> <li>●就職ガイダンス7（先輩内定者に就職活動の話を聞こう）</li> <li>●就職試験対策講座5（ヴォイストレーニング）</li> <li>●就職ガイダンス8（履歴書の書き方）</li> <li>●就職ガイダンス9（合同説明会のマナー講座）</li> <li>●キャリアリーダーズキャンプフォローセミナー</li> </ul>						※3月1日～エントリー開始 ※3月～会社説明会・会社訪問 ※3月～エントリーシート・履歴書提出 ※3月～筆記試験・適性検査など											

## ▶ 保護者の皆さまへ

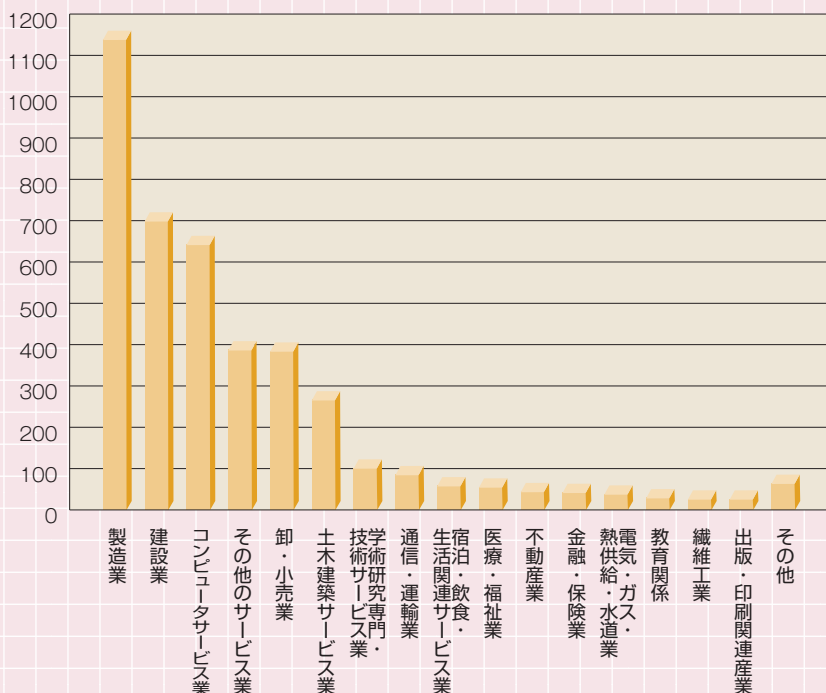
キャリアセンターは、学生の皆さんの将来の夢を実現してもらうために、入学時から4年間を通してキャリア形成・就職支援に取り組んでいます。特に就職活動が本格化する3年次からは、実際の就職活動に万全の体制で臨むことができるよう、ガイダンスやセミナー、各種対策講座などを数多く実施しています。その一方で、多様化していく就職活動を乗り越えて行くことは、学生の皆さんにとって多大なストレスを抱えることになると感じています。そんなときに支えとなるのが保護者の方々の存在です。保護者の皆さまにも現在の就職状況をご理解頂いたうえで、お子さまと対話し、相談にのっていただき最も身近なサポーターとなって頂けるようお願い申し上げます。

キャリアセンターでは、民間企業経験のある職員やキャリアカウンセラーなどの専門職員を学科ごとに配置しています。就職担当教員と連携を図りながら、一人ひとりの学生にあった豊かな人生を築くための第一歩となるよう万全で取り組んで参ります。

就職支援課 課長 渡邊 嘉子

# Employment record

## 業種別求人状況



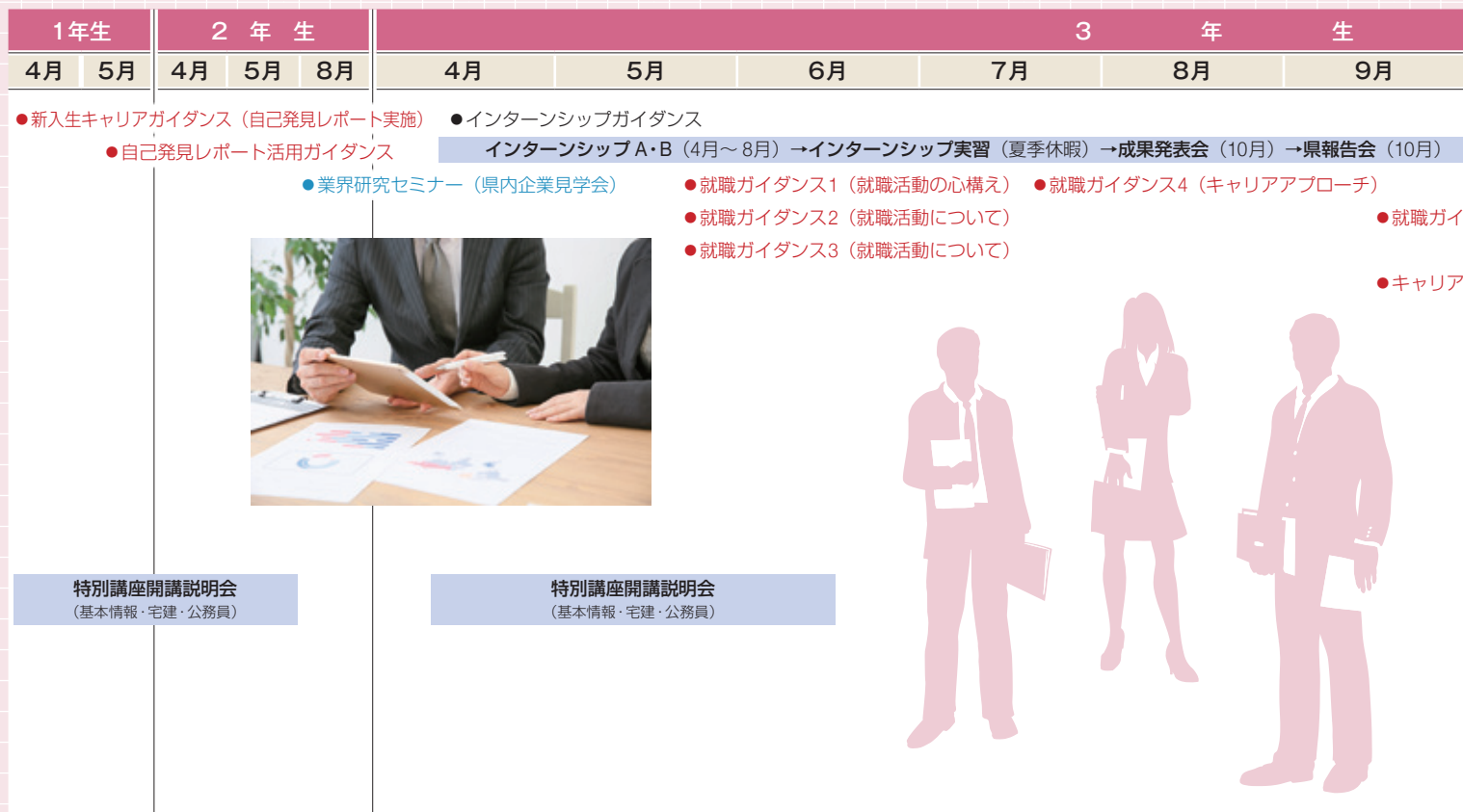
## 求人企業数（業種別）

求 人 企 業 数	4,075社
製 造 業	1,146社
建 設 業	698社
コ ン プ ュ ー タ サ ー ビ ス 業	641社
その他のサービス業	386社
卸 ・ 小 売 業	383社
土木建築サービス業	265社
学術研究専門・ 技術サービス業	100社
通 信 ・ 運 輸 業	84社
宿泊・飲食・生活 関連サービス業	57社
医 療 ・ 福 祉 業	54社
不 動 産 業	43社
金 融 ・ 保 険 業	41社
電 気 ・ ガ ス ・ 熱 供 給 ・ 水 道 業	37社
教 育 関 係	28社
繊 維 工 業	25社
出版・印刷関連産業	24社
そ の 他	63社

（平成29年3月修了・卒業者情報）



## ▶ 就職活動スケジュール



# 就 職 実 績

## ▶ 就職先データ

## Employment date

### 就職・進学状況

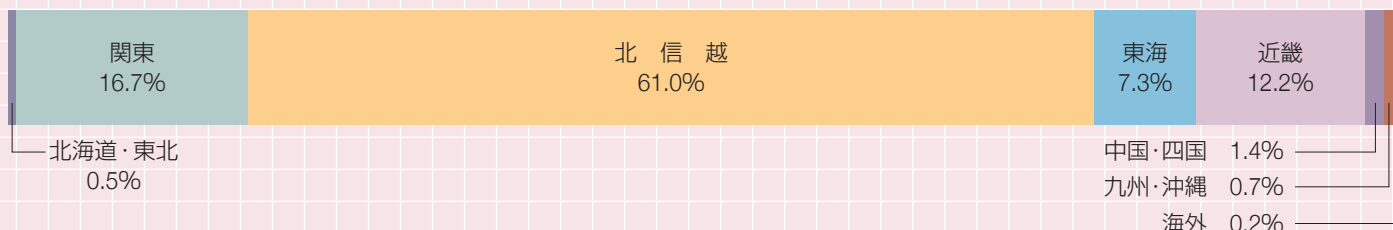
	工学部	大学院	合計
求人企業数	4,075社		
卒業生数	480名	15名	495名
就職希望者数	428名	13名	441名
就職者数	425名	13名	438名
進学者数	38名	1名	39名
就職率	99.3%	100.0%	99.3%

※就職率 = 就職者数 ÷ 就職希望者数 × 100

### 地域別就職状況

地 域	人 数	割 合
北海道・東北	2名	0.5%
関 東	71名	16.7%
北 信 越	259名	61.0%
東 海	31名	7.3%
近 畿	52名	12.2%
中国・四国	6名	1.4%
九州・沖縄	3名	0.7%
海 外	1名	0.2%

### 地域別就職割合





# 本学大学院 の ご紹介

## 大学院進学の勧め

文部科学省の平成29年度学校基本調査（速報値）によれば、高校卒業者の現役大学進学率は54・7%です。高校卒業者の2人に1人が大学に進学している状況下で、大学在学中の就職活動を有利に展開するためには何らかの差別化を図る必要があります。福井工業大学ではキャリアセンターを中心に学生のキャリア形成や資格取得支援に力を注いでいます。こうしたキャリア形成や資格取得に加え、社会に出てからの活躍の場をさらに広げるための選択肢として大学院進学があります。平成5年度と平成25年度における大学卒業生および大学院修了者の就職動向の比較を文部科学省のWebサイト「参考URL①」で見ることができ、製造技術者に占める修士課程修了者の割合は平成5年度（22・5%）から平成25年度（50・4%）の20年間で倍増しています。全国平均で理工系学部の大卒卒業生の約4割が大学院に進学している現状を考えると、今後製造技術者に占める大学院修了者の割合は増えることはあっても減ることはないと言えます。本学では、学生自身の努力や卒業生の企業での活躍等により、99・6%（平成29年3月卒業生実績）という全国レベルでもトップクラスの就職率を誇っています。就職先で長年にわたって働く

ためには、自分で研究開発した製品が社会を支えている、プロジェクトリーダーとしてチームをまとめているなどの達成感や満足度が、より大切であると言えます。ご子息・ご息女が製造技術者や研究開発者として充実感を抱きながら、他の大学院修了者と同じ土俵で互角以上に渡り合えるように大学院進学をお勧めします。

## 本学大学院のご紹介

本学大学院の工学研究科には、応用理工学専攻と社会システム専攻の2専攻が設置され、いずれも博士前期課程（修士課程、2年間）と博士後期課程（博士課程、3年間）が設けられています。各専攻には改組前の学部学科に対応したコースがあり、学部からの一貫教育によってより高度な専門知識と技術を身につけることができます（本学大学院の構成については本学ホームページも御覧下さい）。博士前期課程では、2年間で30単位を修得することが修了要件の一つとなっています。学部（4年間で124単位修得）に比べてゆとりがあるように感じられるかもしれませんが、これは大学院では研究に取り組むことが前提になっているからです。研究活動を通して、社会で役立つ論理的思考力や課題解決能力、さらにはプレゼンテーション能力を高めていきます。本学大学院では研究業績等によって在学期間を短縮することもでき、最短3年間で博士（工学）の学位を取得することも可能です（詳しくは学務課にお問い合わせ下さい）。また、大学院学生にはティーチング・アシスタント（TA）として実験や演習等の教育補助業務を依頼しています。TAによる補助業務は、教えることを通して自ら学ぶという教育的配慮の下に行われているものであり、TAを経験することによって実力が向上し、人間的にも大きく成長することになります。

## 進学のための経済的支援

学部4年間に博士前期課程の2年間が加わるとなる経済的な負担を懸念されることと思います。本学では、大学院入学予定者で、本学での学習意欲を持つ者に対し、選考により学納金を減免する大学院進学奨励奨学金制度があります。第1種は本学学納金50%減免、第2種は本学学納金と国立大学大学院標準額（授業料）の差額を減免します。さらに、本学では大学院入学料が不要なため、入学初年度は国立大学大学院に比べて入学料（282,000円）の分だけ安くなります。博士後期課程では、平成30年度入学予定者で、本学での学習意欲を持つ者に対し、選考により学納金を100%免除する大学院進学奨励奨学金制度（本学学部卒業または本学大学院博士前期課程を修了していない者は、初年度のみ設備充実費年額170,000円が必要）を導入し、進学のための経済的支援をさらに拡充します。また、前述したTA業務では一人当たり月額4〜5万円支給されますので、学納金や生活費を賄えることになります。就職後の初任給も前期課程修了者と学部卒業生とでは月額で2〜3万円の差がありますので、大学院進学に要した費用は比較的短期間の内に取り戻すことができると言えます。

大学院で過ごす年月は密度が高く、極めて有意義です。専門技術者として研究開発部門で活躍するというご子息・ご息女の希望を叶えるために、保護者の皆様方には本学大学院については是非一考下さいますようお願い申し上げます。

参考URL① [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/sangaku2/1351875.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/sangaku2/1351875.htm)



## 応用理工学専攻

### (博士前期課程／博士後期課程)

応用理工学専攻では、基幹工学および先端理工学分野で柱となる電気電子情報工学、宇宙情報科学、機械工学、環境生命化学、原子力技術応用工学の5つのコースを設置。各コースの専門分野の教育と研究を行っています。博士前期課程では、広い視野と高度な専門知識を備え、国際的に活躍できる人材の育成、博士後期課程では、目覚ましい科学・技術の進歩に対応できる専門知識と応用能力、研究能力を備えた人材の育成を目指しています。

#### 電気電子情報工学コース

電力工学、電子材料・デバイス工学、物性工学、制御工学、コンピュータ情報工学の各分野の教育と研究を行い、広い領域で革新を続ける電気電子情報工学分野の研究開発に貢献できる人材を育成します。

#### 宇宙情報科学コース

宇宙環境科学、地球環境計測工学、衛星通信工学、情報処理工学の各分野の教育と研究を行い、宇宙空間時代に対応できる人材を育成します。

#### 機械工学コース

材料工学、振動工学、流体工学、熱工学、機械システム工学の各分野の教育と研究を行い、あらゆる産業に関わりをもつ機械工学の分野で活躍できる人材を育成します。

#### 環境生命化学コース

応用化学、環境科学、材料科学、応用生物学、生命科学、生体工学の各分野の教育と研究を行い、資源、エネルギー、地球環境・食糧問題など、重要課題の解決や安全で豊かな循環型社会の構築に貢献できる人材を育成します。

#### 原子力技術応用工学コース

原子力工学、原子力発電工学、放射線応用工学の各分野の教育と研究を行い、原子力発電技術分野で高度な専門知識・技術を身につけた人材を育成します。

## 社会システム学専攻

### (博士前期課程／博士後期課程)

社会システム学専攻では、安全・安心で持続可能な社会システムの設計・構築・管理運用に関わる土木工学、建築学、デザイン学、経営情報学の4つのコースを設置。各コースの専門分野の教育と研究を行っています。博士前期課程では、広い視野と高度な専門知識を備えた創造性豊かな人材の育成、博士後期課程では、建築・社会基盤の計画・調査・設計・施工・維持管理や情報社会の構築に貢献できる専門知識と応用能力、研究能力を備えた人材の育成を目指しています。

#### 土木工学コース

土木計画学、水工学、環境工学、地盤工学、構造工学の各分野の教育・研究を通じて、社会基盤施設の計画・設計・施工・維持管理および自然環境の保全を考究し、安全・安心な社会の構築に寄与できる人材を育成します。

#### 建築学コース

建築計画・意匠、建築設計、建築環境・設備、伝統木造建築、建築構造工学の各分野の教育・研究を行い、個々の建築はもちろん、都市・地域社会との調和を図り、快適な都市・居住空間の実現に貢献できる人材を育成します。

#### デザイン学コース

生活創造科学、生産・環境デザイン学、情報・伝達デザイン学の各分野の教育・研究を行い、豊かな生活環境を生み出すための魅力的な提案とその実現に貢献できる高度な専門性を備えた人材を養成します。

#### 経営情報学コース

メディアデザイン、情報通信技術の企業経営への応用に関する教育・研究を行い、望ましい情報社会の構築に向けて積極的に提言し、貢献できる人材を育成します。

大学院についての問い合わせ：入試広報課／☎0120-291-780



# 学内奨学金制度紹介

奨学金区分		内 容
1	特待生奨学金 [H27年度以前入学者] <b>授業料50%減免</b> [H28年度以降入学者] <b>学納金50%減免</b>	対 象：学部2年次以上及び大学院博士前期課程 条 件：前学期末までの成績 GPA 評価3.80以上 ※博士前期課程1年生前期：学部の成績 それ以降は前学期の成績 募集期間：前期・後期(年2回半期ごと)
2	[H27年度以前入学者のみ] 準特待生奨学金 <b>授業料20% 減免</b>	対 象：学部2年次以上及び大学院博士前期課程 条 件：前学期末までの成績 GPA 評価3.50以上 募集期間：前期・後期(年2回半期ごと)
3	学習奨励金 [H28年度以降入学者] <b>5万円給付</b>	対 象：学部2年次以上(博士前期・後期課程は対象外) 条 件：前学期の成績 GPA3.80以上かつ前学期の修得単位数 が15単位以上 募集期間：前期・後期(年2回半期ごと)
4	育英奨学金 [H27年度以前入学者] <b>学納金50%減免</b> [H28年度以降入学者] <b>学納金30~70万円減免</b> [家計急変者] <b>学納金70万円減免</b> ※該当年度を適用	対 象：学部2年次以上及び大学院全学年及び家計急変者 条 件：学業成績優秀であり、経済的理由により修学に困難が ある学生、又は本学の定める家計急変事由が発生した 学生 募集期間：前期・後期(年2回半期ごと)
5	[H27年度以前入学者のみ] 学生生活奨学金 <b>月額3万円給付</b> ※該当年度を適用 (前期なら前後期、 後期なら後期のみ)	対 象：学部2年次以上及び大学院全学年 条 件：経済的理由により修学に困難がある学生、学期末まで の成績 GPA 評価2.80以上 募集期間：前期・後期(年2回半期ごと)
6	スポーツ特待生 奨学金 <b>大会成績等により 学納金又は授業料減免</b> ※最大4年間。 ただし継続審査あり	対 象：スポーツ・吹奏楽推薦入試による入学予定者及び学部、 大学院全学年 条 件：本学の規程による
7	災害特別奨学金 <b>被害状況により 学納金等減免 又は災害援助金支給</b>	対 象：入学予定者及び学部、大学院全学年 条 件：本学の規程による 募集期間：随時(ただし、被災日より1年以内)
8	兄弟学費減免 奨学金 <b>最年少にあたる学生の 学納金50%減免</b>	対 象：学園の設置する各学校に兄弟姉妹で在籍している最年 少の学生 条 件：学園の設置する各学校に兄弟姉妹で在籍していること 募集期間：毎年4月
9	外国留学奨励 奨学金 学納金の半額を上限に、渡航 費、生活補助費または、留学先 学費の一部補助	対 象：本学学部生2年次以上または工学研究科1年次以上の 者で交換留学生又は認定留学生である者 条 件：本学の規程による
10	大学院進学奨励 奨学金 (第1種) <b>学納金の50%減免</b> (第2種) <b>国立大学大学院授業料 標準額と本学学納金と の差額を減免</b>	対 象：本学が指定する入試区分で受験した入学予定者 条 件：本学の規程による
11	離島・沖縄県 出身者支援奨学金 <b>国立大学標準額と本学 学納金との差額を減免</b>	対 象：本学の規程による 条 件：本学の規程による ※最大4年間。毎年度末に継続審査有り
12	特別奨励金 <b>資格取得もしくは優秀な 成績を修めたクラブ等に 奨励金支給</b>	対 象：学部・大学院全学年 条 件：本学の規程による 募集期間：随時



# ■ 年間スケジュール ■

A n n u a l   s c h e d u l e

## 前 期

4 月	1 日(日)	学年開始
	3 日(火)	入学式
	4 日(水)～ 7 日(土)	全体オリエンテーション 学部学科別オリエンテーション 前期受講登録ガイダンス ネットワークセキュリティ講習会
	9 日(月)	授業開始(全学年)
	13 日(金)～14 日(土)	永平寺参禅研修 (1年生学部学科別)第1班
5 月	18 日(金)～19 日(土)	永平寺参禅研修 (1年生学部学科別)第2班
	中旬～下旬	五月祭
	26 日(土)	後援会定期総会・福井地区懇談会
6 月	1 日(金)～ 2 日(土)	永平寺参禅研修 (1年生学部学科別)第3班
	3 日(日)	石川地区懇談会
	10 日(日)	東海地区懇談会
	17 日(日)	滋賀地区懇談会
	24 日(日)	富山地区懇談会
7 月	1 日(日)	関西地区懇談会
8 月	6 日(月)～	夏季休業
9 月	15 日(土)	夏季休業終了
	18 日(火)～20 日(木)	後期受講登録ガイダンス

## 後 期

9 月	21 日(金)	授業開始
10 月	20 日(土)～21 日(日)	大学祭
	22 日(月)	大学祭 片付け
11 月		
12 月	27 日(木)～	冬季休業
1 月	5 日(土)	冬季休業終了
	7 日(月)	授業再開
	中旬	学園成人式(式典)
	上旬～下旬	卒業研究発表
2 月	4 日(月)～	春季休業
3 月	15 日(金)	学位記授与式
	31 日(日)	春季休業終了 学年終了

すべてを学生・生徒のために



インタビュー風景  
左より 羽木教授、中城教授、大野氏、森島学長、池田副学長



インタビュー風景  
左より 大野氏、青山先生

## 駐日英国大使館からの取材 期日：平成29年4月17日(月)～19日(水)

駐日英国大使館の大野 真美子氏(当時:科学技術部エネルギー&先端技術担当)から取材を受けました。大野氏より「英国では、環境問題の観点から星空を守る保護活動が積極的に進められており、福井工業大学の“ふくいPHOENIXプロジェクト”と理念が一致している。」との挨拶があり、その後、本ブランディング事業を立ち上げた目的や活動内容についての紹介、宇宙に関する情報交換を行いました。なお、本取材内容は英国外務省広報誌にて特集される予定です。

# 『宇宙』事業推進のために地域と協働する “ふくいPHOENIXプロジェクト”

本学の重点的な研究分野である『宇宙』と『地域貢献』を融合した大型プロジェクト研究“ふくいPHOENIXプロジェクト”が平成28年度に文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」に採択され、平成28年度から5ヵ年計画で事業が遂行されています。

次の通り主な活動を紹介します。



坂本氏



講演会風景

## 宇宙産業振興に関する講演会の開催 期日：平成29年5月26日(金)

自由民主党・総合政策研究所 坂本 規博特別研究員をお招きし、「宇宙産業の振興に向けた宇宙利用の拡大」と題し、講演会を開催しました。

講演では、宇宙利用産業の振興に、(1)宇宙データ利用の拡大が必要であり、(ア)データへのアクセス環境の改善、(イ)データ利用拠点の整備、(ウ)データ利用システムの国際展開が検討されている事に加え、(2)ロケットの新射場(アジア宇宙輸送センター)の整備が検討されている事などを説明され、衛星データだけでなく地上データ等と組み合わせることで高次処理を施すことがビジネス化の鍵であることを話されました。

“ふくいPHOENIXプロジェクト”では、Twitterや特設ホームページにて様々な情報を配信しております。

Twitterのアカウント、特設ホームページのURLを紹介しますので、是非、フォローやアクセスして下さい。

■ Twitterアカウント名: @fppstart2016

■ 特設ホームページURL: [www.fukui-ut.ac.jp/phoenix/](http://www.fukui-ut.ac.jp/phoenix/)

特設ホーム  
ページ  
QRコード





# 各クラブの主要戦績 平成二十九年度

## ◆剣道部

- ◇第65回 全日本学生剣道選手権大会 出場 梁村斗馬  
◇第36回 全日本女子学生剣道優勝大会 出場 池田優樹  
◇第36回 全日本女子学生剣道優勝大会 出場 児島歩  
◇第36回 全日本女子学生剣道優勝大会 出場 野瀬 渉

## ◆柔道部

- ◇第66回 全日本学生柔道優勝大会 出場  
◇平成29年度 全日本学生柔道体重別選手権大会 出場 森島 駿  
男子60kg級 出場 橋本直征  
男子66kg級 出場 森 恒輝  
男子81kg級 出場 森 恒輝  
男子100kg級 出場  
男子100kg級 出場 ダシドラム・イシドルジ  
◇平成29年度 全日本学生柔道団体優勝大会 出場 宮浦 司  
◇平成29年度 全日本学生柔道団体優勝大会 出場 宮浦 司

## ◆空手道部

- ◇第60回 全国空手道選手権大会 出場  
組手団体戦 大学生の部 出場  
都道府県の部 出場  
◇第61回 全日本学生空手道選手権大会 出場 船澤 凌  
◇第61回 全日本学生空手道選手権大会 出場 松浦 真悟  
◇第61回 全日本学生空手道選手権大会 出場 松浦 真悟  
◇第61回 全日本学生空手道選手権大会 出場 松浦 真悟

## ◆硬式野球部

- ◇第66回 全日本大学野球選手権大会 出場  
◇第37回 全日本クラブカップ女子選手権大会 出場  
◇第37回 全日本クラブカップ女子選手権大会 出場 大島七星  
◇第72回 国民体育大会 バレーボール競技 出場  
◇第72回 国民体育大会 バレーボール競技 出場 田中友貴、佐々木魁成(福井県)

## ◆バレーボール部

- ◇第70回 秩父宮賜杯全日本バレーボール大会 出場  
◇第70回 秩父宮賜杯全日本バレーボール大会 出場 男子選手権大会  
◇第8回 全国6人制バレーボールリーグ総合男女優勝大会 出場  
◇第5回 全国ブロック大学男子バレーボールチャンピオンマッチ 出場

## ◆馬術部

- ◇第41回 全日本ジュニア障害馬術大会2017 スピードアンドハンデネス中障害B 3位 仁田原知毅  
◇第72回 国民体育大会 馬術競技 成年女子二段階飛越競技 出場 大野暢子(福井県)

## ◆カヌー部

- 成年男子スピードアンドハンデネス競技 3位 仁田原知毅(福井県)  
成年女子標準障害飛越競技 出場 大野暢子(福井県)  
成年女子トップスコア競技 出場 吉田真悠(福井県)  
◇全日本学生馬術大会2017 出場 吉田真悠(福井県)  
◇第60回 全日本学生賞典馬場馬術競技大会 6位  
◇第89回 全日本学生馬術選手権大会 5位 仁田原知毅  
◇第53回 全日本学生馬術女子選手権大会 出場 吉田真悠

## ◆カヌー部

- ◇第53回 全日本学生カヌーシングルスプリント選手権大会 出場  
女子カナディアン・シングル 500m A決勝 8位 磯本えなみ  
女子カナディアン・シングル 200m A決勝 6位 磯本えなみ  
男子カナディアン・ペア 200m 磯本えなみ  
男子カナディアン・ペア 2位 河野佑次郎、中島扶  
男子カナディアン・ペア 6位 笠原巧貴、宮田真吾  
男子カヤック・フォア 1000m A決勝 8位 川原成弥、坂口幸司  
男子カナディアン・フォア 1000m A決勝 4位 中島 扶、宮田真吾  
男子カナディアン・シングル Relay(4×500m) A決勝 6位 河野佑次郎、中島健太、笠原巧貴、中島 扶  
◇平成29年度 SUBARU日本カヌーシングルスプリント選手権大会 500m決勝 3位 石本天真、前川郁渡  
男子カナディアン・ペア 500m決勝 8位 中岡健太、宮田真吾  
男子カヤック・ペア 200m決勝 8位 坂口幸司、甚内 剣  
◇2017世界カヌーマラソン選手権大会 出場 中島 扶  
◇第72回 国民体育大会 カヌー競技(カヌープリント) 8位 磯本えなみ(福井県)  
成年女子カナディアン・シングル 500m 磯本えなみ(福井県)  
成年女子カナディアン・シングル 200m 磯本えなみ(福井県)  
◇第7回 全日本学生カヌー長距離選手権大会 男子カヤック・シングル 15000m 6位 石本天真  
男子カナディアン・シングル 15000m 8位 河野佑次郎

## ◆ゴルフ部

- 女子カナディアン・シングル 10000m 3位 磯本えなみ  
◇2017中京テレビ・プリジステンレディオープン 出場 福岡靖菜  
◇第59回 日本女子アマチュアゴルフ選手権競技 出場 福岡靖菜  
◇第102回 日本アマチュアゴルフ選手権競技 出場 横井優星  
◇第71回 日本学生ゴルフ選手権競技 7位T 横井優星  
◇第54回 日本女子学生ゴルフ選手権競技 7位T 福岡靖菜  
◇東海クイーンズ 7位T 福岡靖菜  
◇第48回 トップ杯東海クラシック 出場 横井優星  
◇第64回 朝日杯争奪日本学生ゴルフ選手権 出場 横井優星  
◇第20回 朝日杯争奪日本女子学生ゴルフ選手権 出場 田中悠太  
◇第61回 信天杯争奪日本大学ゴルフ対抗戦 出場 塩見心愛  
◇第34回 全日本サンスポ女子アマゴルフ選手権 出場 福岡靖菜

## ◆水泳部

- ◇第2回 静岡お茶オーブンウォータースイミング大会2017 男子5km 出場 稲井善己  
◇第93回 日本学生選手権水泳競技大会 出場 山下 貴  
男子100m自由形 出場 木下晴登  
男子200m自由形 出場 木下晴登  
男子400m自由形 出場 井関 翔  
男子100mバタフライ 出場 岡田奎一  
男子200mバタフライ 出場 岡田奎一  
男子200m個人メドレー 出場 稲井善己  
男子4×100mフリーリレー 出場 木下晴登、岡田奎一、井関 翔、吉田友信  
男子4×200mフリーリレー 出場 木下晴登、井関 翔、吉田友信、岡田奎一  
男子4×200mメドレーリレー 出場 木下晴登、稲井善己、岡田奎一、井関 翔  
◇第34回 日本身体障がい者水泳選手権大会 男子100m平泳ぎSB6決勝 2位 中村元哉  
男子100m自由形S7決勝 5位 中村元哉

## ◆陸上競技部

- ◇第56回 全日本競歩輪島大会 出場 榎田隆宏  
男子全日本10km競歩 出場 柳澤優斗  
男子ジュニア10km競歩 出場 中 優介  
◇2017日本学生陸上競技個人選手権大会 出場 野瀬 渉  
男子10000m競歩決勝 6位 榎田隆宏  
◇第86回 日本学生陸上競技対校選手権大会 8位 中 優介  
男子10000m競歩決勝 出場 榎田隆宏  
◇第72回 国民体育大会 陸上競技 成年男子10000m競歩決勝 8位 榎田隆宏  
◇第56回 全日本50km競歩高島大会 一般男子20km競歩 出場 中 優介  
◇第101回 日本陸上競技選手権 20km競歩 出場 柳澤優斗  
日本選手権男子20km競歩 出場 柳澤優斗  
◇第101回 日本陸上競技選手権 20km競歩 出場 柳澤優斗  
◇第101回 日本陸上競技選手権 20km競歩 出場 柳澤優斗

## ◆ホッケー部

- ◇第26回 アズランシャーカップ 出場 亀山紅葉  
◇第36回 全日本大学ホッケー王座決定戦4位 出場 和田吉広  
◇ユーラシアホッケーカップ2017 出場 和田吉広  
◇ワールドリーグ セミファイナルオハネスフルグ 出場 亀山紅葉  
◇第72回 国民体育大会 ホッケー競技 出場(優勝) 和田吉広、富田竜平(福井県)  
◇男子ジュニア 第7回 スラタンシヨホルカップ 出場 和田吉広  
◇第66回 男子全日本学生ホッケー選手権大会 ベスト8 出場(優勝) 和田吉広、富田竜平、野村烈留  
◇男子ジュニア 第1回 オセアニアチャレンジャカップ 出場(優勝) 和田吉広、富田竜平、野村烈留  
※参考:平成30年2月中旬時点で結果報告のあった大会を記載

# 平成30年度 学部学科別教員一覧

## 工 学 部

電気電子工学科	機械工学科	建築土木工学科	原子力技術応用工学科
教 授 青山 隆司	教 授 掛下 知行	教 授 竹田 周平	教 授 堀池 寛
教 授 藤田 輝雄	教 授 片岡 勲	教 授 宇治橋 康行	教 授 新谷 裕和
教 授 鹿間 敏弘	教 授 羽木 秀樹	教 授 高島 正信	教 授 尾崎 禎彦
教 授 中尾 一成	教 授 小沢 康美	教 授 仲地 唯治	教 授 砂川 武義
教 授 西田 好宏	教 授 山下 清隆	教 授 谷脇 一弘	教 授 来馬 克美
教 授 中城 智之	教 授 西岡 岳	教 授 市川 秀和	教 授 西嶋 茂宏
教 授 芥子 育雄	教 授 位田 晴良	教 授 多米 淑人	教 授 伊藤 保之
教 授 西村 博明	教 授 清水 大	教 授 下川 勇	教 授 三島 史人
准教授 栗島 史欣	准教授 原口 真	准教授 五十嵐 啓	
准教授 中道 正紀	准教授 安田 洋平	准教授 吉村 朋矩	
		准教授 清水 俊貴	
		准教授 西川 隼人	

## 環境情報学部

環境・食品科学科	経営情報学科	デザイン学科	スポーツ健康科学部
教 授 田中 智一	教 授 山西 輝也	教 授 池田 岳史	教 授 戎 利光
教 授 矢部 希見子	教 授 松岡 博幸	教 授 川島 洋一	教 授 澤崎 雅之
教 授 原 道寛	教 授 杉原 一臣	教 授 三浦 英夫	教 授 吉村 喜信
教 授 笠井 利浩	教 授 恐神 正博	教 授 西尾 浩一	教 授 加藤 芳信
教 授 柏山 祐一郎	教 授 北上 眞二	教 授 三寺 潤	教 授 佐々木 弘
教 授 小松 節子	教 授 谷垣 宏一	講 師 近藤 晶	教 授 横谷 智久
准教授 辰巳 佳次	准教授 田中 真由美	講 師 玉野 哲也	教 授 島田 茂
准教授 大能 俊久	准教授 千葉 賢	講 師 藤田 大輔	教 授 野口 雄慶
准教授 古澤 和也	准教授 吉田 友美		准教授 杉浦 宏季
	准教授 木森 義隆		准教授 辻本 典央
	講 師 野際 大介		准教授 内藤 景
			講 師 野尻 奈央子
			講 師 栗本 宣和
			講 師 前川 剛輝

## 基礎教育機構

教 授 蔵田 浩之	外国語担当助教 エドウィン ハート
教 授 荒木 史代	外国語担当助教 クリストファー ピロット
准教授 入学 直哉	外国語担当助教 ロバート ヘネシー
講 師 小山 政史	外国語担当助教 ミッチェル ネルソン
講 師 サム トムソン	外国語担当助教 デール ジェフリー
講 師 ブラッドフォード リー	外国語担当助教 ジャスティン ベイリー
講 師 荒川 義弘	外国語担当助教 レア アームストロング

学生数 2,310名

うち女子学生 237名

留学生 103名

(平成30年4月3日現在)



# ご相談窓口のご案内

学習・就職・学生生活など、日頃から気に懸かっていることやご心配ごとがございましたら、お気軽に下記担当課へご相談ください。

問い合わせ先		メールアドレス
総合窓口	0776-29-7864 (庶務課)	syomu-u@fukui-ut.ac.jp
学 び (教 務 関 係)	0776-29-7865 (学務課)	kyomu-u@fukui-ut.ac.jp
	0776-29-7870 (情報メディア課)	tosyokan@fukui-ut.ac.jp
	0776-29-2403 (学習支援室・教職支援室)	gakusyu@fukui-ut.ac.jp
暮 ら し (学 生 生 活 関 係)	0776-29-7867 (学務課)	gakusei-u@fukui-ut.ac.jp
	(医務室)	imushitsu@fukui-ut.ac.jp
進 路 (大学院進学関係)	0776-29-7871 (入試広報課)	kouhou@fukui-ut.ac.jp
進 路 ( 就 職 )	0776-29-7868 (就職支援課)	syusyoku@fukui-ut.ac.jp
大学の研究支援、社会貢献活動、同窓会	0776-29-2661	shakai-u@fukui-ut.ac.jp
	0776-29-7834 (社会連携推進課)	futcro@fukui-ut.ac.jp
セ ン タ ー 管 理 課	0776-29-2671	
情 報 メ デ ィ ア セ ン タ ー	0776-29-7873 (情報メディア課)	densan@fukui-ut.ac.jp
出 納 (学費納入関係)	0776-29-7854	
あ わ ら キ ャ ン パ ス	0776-79-0111	

※発信元や通信の事由が的確でない電子メールに関しましては、お応えしかねる場合がございますのでご了承ください。

## 医務室からのお知らせ

充実した学生生活を送るためには、心身共に健康であることが大切です。

『自分の健康は自分で守る』ことができるよう、医務室では学生の皆さんの健康のサポートをしています。

場 所	大学2号館1階 学務課の隣 (2号館自動ドア入ってすぐ左)
開室時間	平日：月～金 8:30～17:30
スタッフ	看護師1名
そ の 他	車椅子1台、担架2台、AED1台を設置しています。

### 【利 用 案 内】

#### 1. 病気やケガの応急処置、医療機関紹介

体調がすぐれないときや、ケガをしたときの応急処置等を行います。また、体調が回復するまでしばらく休養したい、持病があるため授業の空き時間に休養したい等の時に利用することも可能です。

#### 2. 学生定期健康診断

学校保健安全法に基づき、学生は必ず全員受けなければならない義務があります。また、健康診断証明書を発行するために必要となります。特に教職を希望する2・3年生や、就職活動を行う4年生、大学院生は必要になる場合があります。

#### 3. 健康相談 (身体・こころ)

学生生活での不安や悩みなどについて随時対応します。

#### 4. 健康チェック

#### 5. その他

献血・AED講習会・インフルエンザ予防接種  
インフルエンザ予防接種については後援会からの補助金もあります。

平成30年度

# 福井工業大学 後援会定期総会 開催のお知らせ



本年も、福井キャンパスを会場に、後援会定期総会を開催いたします。当日は、総会のほか、「保護者個別懇談会」「ランチ体験」などのプログラムを用意しております。この機会に、学生生活の一端に触れていただければ幸いです。保護者のみなさまのご参加をお待ちしております。

5/26<sup>土</sup>

13:00 ~  
福井キャンパス  
大学2号館8階 2-802教室

受付/11:30 ~  
福井キャンパス  
大学2号館1階学生ロビー

平成30年度 福井工業大学後援会定期総会並びに保護者個別懇談会開催概要

## 日程

### 11:30 ~ 受付

「ランチ券」を配布します。学園レストランを体験してみてください。  
(13時までの使用となりますのでご注意ください。)

### 13:00 ~ 後援会定期総会

1. 開会
2. 挨拶
3. 議事 

(1) 平成29年度事業報告	(2) 平成29年度収支決算報告
(3) 平成30年度事業計画(案)	(4) 平成30年度収支予算計画(案)
(5) 平成30年度役員改選	(6) その他
4. 閉会

### 14:00 ~ 福井地区保護者個別懇談会

学業・就職・大学生活等お気軽にご相談ください。



平成30年度

# 福井工業大学 地区懇談会 開催のお知らせ



昨年度の東海会場の様子

地区懇談会とは、6月～7月にかけて、石川・富山・滋賀・関西・東海の全5地区に本学教職員が出向き、福井工業大学の教育や就職のご報告、保護者の皆様と学科教員との個別面談を行うものです。また、昼食を兼ねた懇親会では保護者・大学教職員・同窓会会員・後援会会員との情報交換などが行われます。多数の方々のお申込みをお待ちしております。

## 開催一覧

開催地区	期 日	会 場	開催地区	期 日	会 場
福井地区	5月26日(土)	福井工業大学 福井キャンパス	滋賀地区	6月17日(日)	ピアザ淡海
石川地区	6月3日(日)	石川県勤労者福祉文化会館	富山地区	6月24日(日)	富山国際会議場
東海地区	6月10日(日)	名古屋ガーデンパレス	関西地区	7月1日(日)	大阪ガーデンパレス

## 日程（各会場共通）

※内容が変更となる場合もあります。

10:00 ～ **教育・就職報告会**

学生のキャンパスライフ、就職情報等を大学教職員がお伝えします。

12:00 ～ **懇親会（昼食）**

13:00 ～ **保護者個別懇談会**

学業・就職・大学生活等お気軽にご相談ください。

※福井地区保護者個別懇談会は14:00～ ※福井地区は、保護者個別懇談会のみ実施となります。

平成30年度

# 福井工業大学 就職セミナー 開催のお知らせ

後援会では保護者の皆様に、採用活動の現場で得た情報をもとに、最新の就活の最前線情報について理解を深めるセミナーを実施します。本セミナーでは、就職活動の最新動向を知り、子供に対する望ましい親の役割・役目についても整理いただき的確にサポートするポイントをお伝えします。保護者の皆様の参加をお待ちしております。

## 対象学年

(学部) 2年生・3年生

## 開催一覧

開催地区	期 日	会 場
滋賀地区	9月8日(土)	大津市 ピアザ淡海
福井地区	10月20日(土)	福井工業大学 福井キャンパス

## 日程（各会場共通）

※内容が変更となる場合もあります。

10:30 ～ **就職セミナー（外部講師）**

事前申込制

※懇親会（軽食）／滋賀会場のみ ※個別相談、対応可能（就職支援課職員）

# 平成30年度から、総会・地区懇談会の参加申し込みが ホームページ(ウェブ)に変わります



**1** 本学ホームページより  
「保護者の方へ」をクリック。

## 保護者懇談会申込



**2** 「福井工業大学後援会」を  
クリック。

後援会 Supporters' Association for Fukui University of Technology				
総会・保護者懇談会				
29年度 地区懇談会日程				
地区	開催日	会場住所	電話番号	申込
福井	5月27日(土)	福井工業大学 福井市学園3-6-1 [Google Mapで確認する]	0776-29-7777	申し込み
石川	6月4日(日)	石川県立若狭文化会館 金沢市西金沢3丁目3-5 [Google Mapで確認する]	076-234-2421	申し込み
関西	6月11日(日)	大阪ガーデンパレス 大阪市淀川区西宮南1-3-35 [Google Mapで確認する]	06-6396-6211	申し込み
東海	6月18日(日)	名古屋ガーデンパレス 名古屋市中区錦3丁目11-13 [Google Mapで確認する]	052-957-1022	申し込み
滋賀	7月2日(日)	ピアザ滋賀 大津市にぎの浜1-1-20	077-527-3315	申し込み
富山	7月23日(日)			申し込み

**3** 各地区の「申し込む」を  
クリック。

## 定期総会参加申込 兼 委任状提出

**4** 「定期総会参加申込 兼 委任  
状提出」の出欠・氏名を入力。

欠席の場合は、必ず委任状を提出して下さい。

**5** 「申込みフォーム」の  
各項目を入力。

